

「あなたの支援が必要です。」

ヘルプカード

障がいのある人には、自ら「困った」となかなか伝えられない人がいます。

「ヘルプカード」は、障がいのある人が普段から身につけておくことで、緊急時や災害時、困った際に周囲の配慮や手助けをお願いするきっかけをつくるカードです。



ちょっとした手助けが、障がいのある人の安心につながります。

配布場所 東浦町役場 障がい支援課窓口
〒470-2192 東浦町大字緒川字政所20番地

障がいのある人が困っていたら…

- 「どうしましたか？」と声をかけてください。
- 相手に伝わっているか確かめながらゆっくり話しましょう。
- ヘルプカードの裏面に手助けしてほしい内容が記載されています。



お問い合わせ先: 東浦町役場 障がい支援課 TEL 0562-83-3111

ヘルプカードの記入方法

●私、こんなことで困っています。（自由記述）

私は耳が不自由です。手話が筆談でお願いします。



発行：東浦町障がい支援課

【苦手なこと】

- が不自由です。
- が苦手です。

【必要な支援】

- 手話が筆談でお願いします。
- ゆっくり簡単な言葉で説明してください。
- 私の代わりに電話をかけていただけませんか。

♡ 私の基本情報

●氏名 **東浦 太郎** 男・女

●生年月日 T・**③**・H **22** 年 **2** 月 **22** 日

●住所 東浦町大字 **緒川字政所20番地**

●緊急連絡先 ○○-△△△△

氏名 **東浦 一郎** 続柄（**父**）

電話番号 ○○○-△△△△-××××

連絡先名（株）○○商事

✚ 私の医療情報

●障がい名 **身体障がい**

●アレルギー ○○○○

●血液型（RH **④**・-） **⑤**・B・O・AB

●飲んでいる薬 ○○○○、×××

●かかりつけ病院 ○○**医院**

●主治医 △△△ 科 ○○ 医師

災害が発生した場合...

- 通常的手段では必要な情報を得ることが困難。

→視覚障害者や聴覚障害者には、筆談や読み上げにより必要な情報を伝えましょう。

日常生活で困った場合...

- 発作でパニックを起こしてしまった。道に迷ってしまった。

→まず、簡単な短い言葉で優しく声をかけましょう。ヘルプカードを持っていたら、手助けしてほしい内容を確認して、できるだけ安全な場所で過ごせるようにしてください。

他にも、こんな場合があります...

- 内部障害や精神障害のために外見では健康に見えても、電車で立っているのがつらかったり、階段を昇るのがつらい。また、知的障害のために音やにおいに敏感。

→席を譲ってあげたり、混雑で緊張している様子を見たら、そっと見守ってください。